【KSKQ】 2021年3月号 No.212

あいえるらくがき帳

一九九一年九月三日　第三種郵便物承認　毎月（1・2・3・4・5・6・7・8の日）発行

全集中！　お菓子作りの呼吸
ほんわか壱・弐の型　珈琲車厘（こーひーぜりー）！

コロナ禍の中でなかなか思うように外出出来ない中、一つでも多く楽しみを作ろうという事で、今年から月に１回ペースで、ほんわかにてお菓子作りを始めました。この時の詳しい様子は、ブログをご覧下さい→

もくじ

○障がい者を遠ざけていく未来社会！？(障害者のついーと)
――当事者スタッフのコラムです
○ヒヤリハットの原因とは？(支援？介助？)
――介護現場におけるヒヤリハットについて解説します
○重度訪問介護の外出できる時間って決まってるの？！
――重度訪問介護の移動加算について解説します

http://aiel.or.jp

あいえる協会公式サイトはこちら

ピア・エンジンコラム

障がい者を遠ざけていく未来社会！？

～ロボット化は人との関係を希薄にする！～

“介護”と“障がい者”は、切っても切れない要素。

それが、近年大きく変わろうとしている。人間が行ってきた“介護”がロボット（機械）に置き換えられようとしている。

今、介護ロボット（AI 知能化した機械システム）の技術が目覚ましい進歩を遂げている。移乗、移動、排せつ、入浴、見守り、介護者アシスト、コミュニケーションからケアプラン作成、モニター調査等様々な用途にも用いられようとしている。ロボット化の推進は、介護職の減少に対応するためである。

介護職の減少の要因として、超少子高齢化社会による労働人口の減少や３K（きつい・汚い・危険）と呼ばれる原因がある。そこに、ヘルパー（介護者）不足の深刻化に拍車を掛けるような新型コロナウイルス。コロナ禍で、“密”を避けるために介護をロボットに置き換えようと、政府による補助が打ち出されている。

私は、介護ロボットを ADL の補助として限定的に使用することについて否定するものではない。しかし、ロボットによって人と人との間を疎遠にしたり、ケアプラン作成など、人間にしかできない領域までがロボットに置き換えられようとしていることに危惧を覚える。

本来、介護というものは、単に障がい者の身体的補助というだけでなく、障がい者と健常者が“協働”して実施する行為である。障がい者と健常者がコミュニケーションをとりあい、障がい者のその時々の気分やニーズを確認しながら行うのが介護である。介護を通して障がい者と介護者が互いに理解を深め、関係を構築していく過程でもある。さらに、関係性の構築は、健常者が障がい者に対する偏見や差別を自覚し、自己を見つめ直す契機にもなりうるのではないだろうか。

ロボットによって、他人との“煩わしさ”が回避されるというメリットもあるかもしれないが、“煩わしさ”の中にこそ、人と人がつながる契機があるのではないだろうか。

今、コロナ禍の中で、リモートワークやキャッシュレス化、デジタル化等、人との接触しない環境が作られようとしているが、こうしたことも障がい者と健常者の距離を広げる要因になるのではないかと危惧する。

人との関係が希薄になりつつある今だからこそ、繋がり、触れ合い、慈しみ合い、自己を見つめ直す必要があるのではないだろうか。

（文責：あか）

エンジンの当事者スタッフが
マスクを探すコラムもあります。
こちらからご覧ください→

支援関連コラム

ヒヤリハットの原因とは？

～事故防止に必要なこと～

ヒヤリハットとは

介護現場におけるヒヤリハットとは、文字通り「**ヒヤッとした**」「**はっとした**」経験をスタッフと共有する為の書類です。

具体的には、「介護事故には至らなかったけど、危なかった」という経験です。これらの情報を共有し、**ケアの質向上**や**事故防止**の為に書かれます。

ヒヤリハットは介護事故の可能性があった時です。

では、どういう場面で起こりやすいでしょうか？

ちなみに…介護事故で多いケースは…

・約 8 割がベッドや車椅子などからの転落事故
・歩行中や立ち上がりに際しての転倒事故。
・食べ物を喉に詰まらせたり、誤嚥によって肺炎などを併発も

それ以外では、体位交換などの介助を行なっている際に、利用者さんを骨折させてしまったり、皮膚を傷つけたりという、いわゆる「介護ミス」によるものもあります。

ヒヤリハットの作成目的

・介護事故の防止
・ケアの質向上や業務改善
・事例や危険意識を全体で共有する

よく言われる「ハインリッヒの法則」では、『一件の重大なトラブル・災害の裏には、29 件の軽微なミス、そして 300 件のヒヤリ・ハットがある』とされています。

ヒヤリハットの作成過程では、その原因や対策まで考える事になります。それらを突き止めると、利用者さんが抱える希望や問題も浮かび上がってきます。当法人の支援で大切にしている掘り下げる力はここでも活かされています。

介護現場には、色々な所に思わぬ事故リスクが隠れています。

利用者さんの安全を守るには、そうした危険への気付きと、スタッフ同士話ができる関係、風通しの良い環境が必要となります。

（文責：岡田）

制度関連コラム

重度訪問介護の外出できる時間って決まってるの？！

皆さんは重度訪問介護というサービスはご存じですか？重度訪問介護の主なサービス内容は、入浴や食事などの身体介護、調理や洗濯などの家事援助、外出時における移動介助、その他生活等に関する相談や助言などです。基本的な対象者は障がい支援区分が 4 以上であり、『重度の肢体不自由で、常時介護を必要とする方』または『重度の知的障がいや精神障がい等で常に介護を必要とする方』とされています。（※詳しくはお住まいの自治体の HP 等で確認して下さい）。

イメージとしては、介護給付の居宅介護（ホームヘルプ）と、地域生活支援事業の移動支援を組み合わせた、外出を含む総合的な介助を受けることができるサービス、といった感じです。ただ、「見守り」という介助ができるのはこのサービスの大きな特徴です。常に介助が必要ではないけれど、何かあった時には対応や見守りが必要というニーズに応えることができます。

さて、実はこのサービス、障がい福祉サービス受給者証の重度訪問介護の記載部分には『うち移動中介護の加算対象時間数』と書かれている場所があります。大阪市では月に最大 51 時間の支給量となっており、これが重度訪問介護の移動加算といわれる時間です。ではこの時間しか重度訪問介護を利用している方はヘルパーと外出できないのでしょうか？

上にあるように「外出時における介護を総合的に行う」となっており、もともと重度訪問介護は外出も想定されたサービスなんですね。この 51 時間は加算が付く時間数なので「月に 51 時間しか外出できない」という意味ではありません。またこの加算は 1 日 4 時間までになっていて、これも同じように外出できるのは 1 日 4 時間までというわけではないです。これはただ、ヘルパー事業所が加算をつけれる時間が月に 51 時間、1 日 4 時間となっているだけなので、制限されているわけではありません。

今回は、重度訪問介護の移動加算について紹介しました。文字だけで見ると分かりにくく、勘違いしてしまうこともあるかと思います。重度訪問介護では、支給された時間数の中では、好きな時間、外出することができます。現在は新型コロナウイルスの影響で、好きに外出するのが難しくなってきていますが、一日も早く、気にせずに自由に外出できる日が来ることを望むばかりです。

（文責：井本）

お知らせコーナー

みんなのぬくぬく ～交流スペース～

■次回ぬくぬくスケジュール■

新型コロナウィルス感染拡大防止のため休止中です。新しい生活様式での開催を目指しています！

★ヘルパーさん大募集★

時給：1280 円～

勤務地：住吉区・西成区の一部

勤務日：週１日～OK!※応相談！

連絡先：ヘルプセンター・ホップ
住吉区長居１－３－１９和光第３ビル３F
TEL:０６－６６９４－５１４６

先輩ヘルパーの
インタビュー記事はこちら

男性・女性・学生の方・主婦(夫)の方・未経験者大歓迎です！

お気軽にお問い合わせください！

住吉区地域自立支援協議会

■障害者の暮らし何でも相談■

日程：３月２４日(水)　１１時～１４時

場所：住吉区役所

＊コロナ流行のため、実施に関しては HP からご確認ください

住吉区地域自立支援協議会 HP

編集人・発行人

■編集■

社会福祉法人あいえる協会ライフ・ネットワーク（生活介護事業所）

〒558-0004　大阪市住吉区長居東 3-8-25　ふぁみーゆ長居Ⅱ１F

ＴＥＬ：06-6607-8260　　ＦＡＸ：06-6607-5503

郵便振替口座　00960-5-137458　年間購読料 600 円（定価 100 円）

■発行人■

関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ﾋﾞﾙ４F

一九九一年九月三日　第三種郵便物承認　毎月（1・2・3・4・5・6・7・8の日）発行

社会福祉法人あいえる協会

法人本部

ヘルプセンター・ホップ

自立生活センター・まいど

グループホーム・あいえる

グループホームほんわか

ウィル

ライフ・ネットワーク

ピア・エンジン（分所）